

議長（志村 忠昭）

そしたら、午後の一般質問に入りたいと思います。

最初に、隅岡美子議員。はい、隅岡君。

議員（隅岡 美子）

5番隅岡美子、議長のお許しを頂きましたので、これより順次一般質問をさせていただきます。

多度津町における子育て応援アプリの推進についてであります。

平成27年度から、「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことに伴い、保育をはじめとする様々な子育て支援に関する情報提供や相談、助言等を行う「利用者支援事業」の実施が自治体に求められたことがきっかけとなり、各自治体が独自の支援事業を検討・展開するようになりました。

昨今、子育て家庭の家族形態や就労形態が多様化する中、保育だけでなく、様々な形の子育て支援が求められており、自治体における支援事業も利用者のニーズに幅広く対応する必要性が増してきています。

東京世田谷区では、子育て世代に広く普及しているスマートフォンを活用した支援事業を行っており、注目を集めています。

多様化する子育て家庭のニーズに沿った情報を提供するためのツールの一つとして、平成26年10月から「せたがや子育て応援アプリ」を公開しています。

核家族化やひとり親世帯の増加、地域のつながりの希薄化などにより保護者が孤立しがちであることから、出産や子育てに対する不安や負担は決して軽くありません。

そこで、子育て世代の多くが利用しているスマートフォンで、時間や場所にとらわれず、気軽に子育て支援に関する情報を取得できるようにすることで、子育て世代の不安感や負担の軽減などを図ることができるアプリが有効であると考えて導入されました。

アプリを通じて提供されるサービスには、おむつ替え・授乳スペース、公園などの施設を検索できる「施設マップ」、子育て支援情報や申請・手続きなどの情報を閲覧できる「子育て支援ナビ」、幼稚園・保育施設を条件に合わせて検索できる「保育施設検索ナビ」、登録した子どもの生年月日や住所などに合わせた健診や予防接種のお知らせを通知する「お知らせ配信機能」などがあり、妊娠期から小学校就学前の子育て家庭を対象に支援情報を提供しています。利用者からは好評を得ており、アプリの公開から約1年が経過した平成27年9月末時点でのダウンロード数は8974件となっています。

今後、同様のアプリを開発する自治体が増えると、近隣の自治体と連携したサービスの提供を検討することも可能となり、より多くの子育て世帯のニ

ズにきめ細かく応えることができるようになることが期待されます。

そこでお尋ねを致します。

多度津町においても、事例を参考に地域の特徴に合わせて柔軟に情報提供ができるツールの一つとして、アプリの開発を検討・推進頂き子育て支援事業に活かしていただければと思います。

宜しくお願い致します。

町長（丸尾 幸雄）

隅岡美子議員のご質問の「多度津町における子育て応援アプリの推進について」の答弁をさせていただきます。

議員ご質問の、子育てアプリにつきましては、「せたがや子育て応援アプリ」だけでなく、県及び市単位で複数の自治体が取り組んでいる、子育て世代にとって便利なアプリであることは認識しておりますが、多度津町におきましては、平成27年度にシステム構築を行い、平成28年3月1日より、子育てに関する情報はもちろんの事、保護者の方の健康に関する情報もメールでお知らせする、多度津町メールマガジンの公式配信を開始しております。

このメール配信サービスは、あらかじめ登録していただいた方の携帯電話やパソコンに、町からの情報を電子メールでお知らせするものであり、情報につきましては、全般的なお知らせ情報、特定の病気の早期発見のための検診や、総合的な健康診断情報、予防接種情報、教室情報、保育施設など預かり情報、助成・手当情報などのカテゴリがあり、そのカテゴリの中から、希望する情報を選んで登録を行えば、各幼・小・中学校及び、福祉保健課、健康センターからの情報が、登録者の従来型の携帯電話やスマートフォン及び、パソコンに直接メールで配信されます。

議員のご質問にあるアプリになりますと、従来型の携帯電話では情報を取得することが出来ないことから、本町では総合戦略の中のK P I 目標項目にも掲げてありますように、配信情報の更なる充実を図り、子育て支援メール配信登録者数を増やすことに取り組んでいく考えであります。

しかしながら、議員の言われるアプリにつきましても、スマートフォンが普及している中、今後、検討していかなければならないことと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げ、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁ありがとうございます。

そういうことでアプリを作るのに開発するのに多額の費用も掛かりますし、ランニングコストも掛かりますということで、そのように理解を致しておりますがしかし、今現在、3カ月経過しております状態から今、子育て支援のメール配信についての質問を致したいと思います。

今3ヶ月経過しておりますが、今現在の登録者数は、何人でしょうか。お願い致します。

福祉保健課主幹（丸岡 多恵子）

隅岡議員の再質問のメール配信の現在の状況についてですが、子育て支援の方の関係につきましては、保健センターでは先ほど、町長からの答弁にございました、カテゴリーのうち、健診情報（こども・おとなの健診）予防接種、教室（こどもの教室・おとなの健康教室）相談（こどもの相談・おとなの健康相談）感染症情報（献血などの）配信をしております。

現在の配信内容としましては子育て世代には毎月行っている健診や相談、教室、広場の案内に内容を加えたものや予防接種の日程、感染症流行情報などで配信は3月3日から開始し、5月末までに27件の配信をおこなっています。

登録者数については、主なものとしては例えばこどもの健診であれば94件からスタートし、現在443件に増加しており、予防接種につきましても87件から414件の登録者数となっており、感染症情報は441件になっております。

また、子育てメール配信事業のPRとしてホームページ以外に妊娠届出時、マタニティ教室、乳幼児健診時、予防接種予診票の送付時にチラシを同封するなど、あらゆる機会をとらえてPRに努めているところです。

今後、さらに登録者からの意見も取り入れ、タイミングよく配信し、配信内容やチラシ内容も工夫していきたいと考えています。

内容的には広報やホームページと同じ内容のものもありますが、タイムリーに情報が入ってくることで、また、台風などで行事等が中止になった場合には、問い合わせの必要がなく、情報が入ってくるなどのメリットがあります。

そのため、より多くの方が登録していただくことにより利便性が高くなると考えます。

今後、メール内容の工夫点と致しましては、配信のタイミングに配慮することは、勿論、簡潔で見やすい内容、ニーズに合ったお知らせを拡充していく、問合せ先に電話番号のほかに健康センターのメールアドレスをいれ、気になることはすぐメールで気軽に質問することができるなど、工夫と考えています。

以上簡単ではございますが答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁、ありがとうございました。

今、課長が言われたように登録者数の中の検診、予防接種それから、感染予防ですかね、全部5倍強、すごいたくさん利用されているなど目に見えて具体的に判りました。

これ、メール配信されて、色んな相談をする中で、電話番号も書き、メールアドレスも書き、それでやり取りをするんですけど、そこでこんなんで悩んでるよ、といった場合は、健康センターや福祉保健課の方へ出向いて頂いて、そこでまた相談したり、そこへ保健婦さんがそこへ訪問していく内容でよろしいですか。

福祉保健課主幹（丸岡 多恵子）

今のご質問で相談等とかがございましたら、電話なりメールでこちらの方から相談に応じたりとか、また、こちらの方で、行事等でメールとか電話だけで、すまない場合もたくさんございます。

そういったところで、保健センターの方では、誰でも気軽に集える場所として、母親とか保護者の方に健康センターの方へ来て頂いてコミュニケーションづくりというのを大切にしております。

スマホとか携帯だけであると、一方的な、情報のやり取りだけになって、顔が見えないということもありますので、できる限り、訪問なりこちらの方へおいでて頂いて、お互いにコミュニケーションづくりの場というのを大事に考えているところです。

その場の一つとしてのびのび広場というのがありますが、これについては、人と人のつながりさらには、スタッフとしては保健師以外に助産師、保育士が本の読み聞かせであったりとか、保護者からの相談に応じて、また希望者には、体重測定とか身体計測を行ったり、ヘルスメイトによる手作りおやつ提供また、音楽講師による親子リズム遊びなどを行い、コミュニケーションづくりの場を大切にしていきたいと考えております。

以上です。

議員（隅岡 美子）

ご答弁、有難うございました。

本当に私もそのとおりでと思いました。

やはり、これは何時の時代にもありますと思いますが、今核家族が進んでいる中、周囲に誰も相談する人がいなくて本を買って、本の中で自分の子どもが、その本に書いてある状態とどうか、そういうことしか判断することがないという現状もあります。

そういった保健センターの方へ是非おいでて下さいというふうに呼びかけるというのは、すごく大事でないかなと私は思いました。

メール配信の中のサービスの内容ですけど、その中の施設検索、ここの施設では、どういうこと、例えば、乳児の検診ですので、おむつ替えができますよとか、授乳スペースがありますよとかそういった内容もさらに充実して頂ければなど、このように思いました。

これは、要望です。

ある山形県の新庄市という所がございます。

2月9日、無料通信アプリ、これは、ラインですけどラインを利用した、子育てのサービスを開始をいたしました。

自治体がラインで個別に相談に乗るサービスを行うのは全国で初めてだそうです。

まあラインですのでやり取りは、簡単にできるし、色んなセキュリティ、たくさん問題がありますけど一回ホームページを開いて頂いて、また参考になるところは参考にして頂いたらと思います。

なにぶん、3カ月しかまだ、経っていないので、今後も他の自治体と色んな所も参考にして頂きながら、しっかり多度津に住んで良かったなど、定住人口が増えるようにさらなる充実の期待をしたいと思います。

また、話は少し逸れますけれど、その他に子育てメール配信で色んな相談をすること以外に子どもの方ですけど小児救急、電話相談という、#8000というのがあります。

これはすごく有名というか全国何処でも、#8000という電話番号で繋がるということ。これは全国統一の短縮番号であります。

中々このことを知らない子育て最中のお母さん、お父さんがいらっしゃるということをお聞き致しまして、色んな場面で私も#8000を押したら相談窓口に自動転送されて、小児科の小児科医、看護師に繋がってお子さんの病状とか、適切な判断が出来、また対処の仕方も教えて頂けますよと言ったり致します。

こういうことも配信の中に取り入れて頂いたらなとこのように思っております。

今後さらに先程言われましたように色々なサービスの充実をして頂きまして、今後、さらなる内容の充実にご期待を申し上げて私の一般質問を終わります。有難うございました。